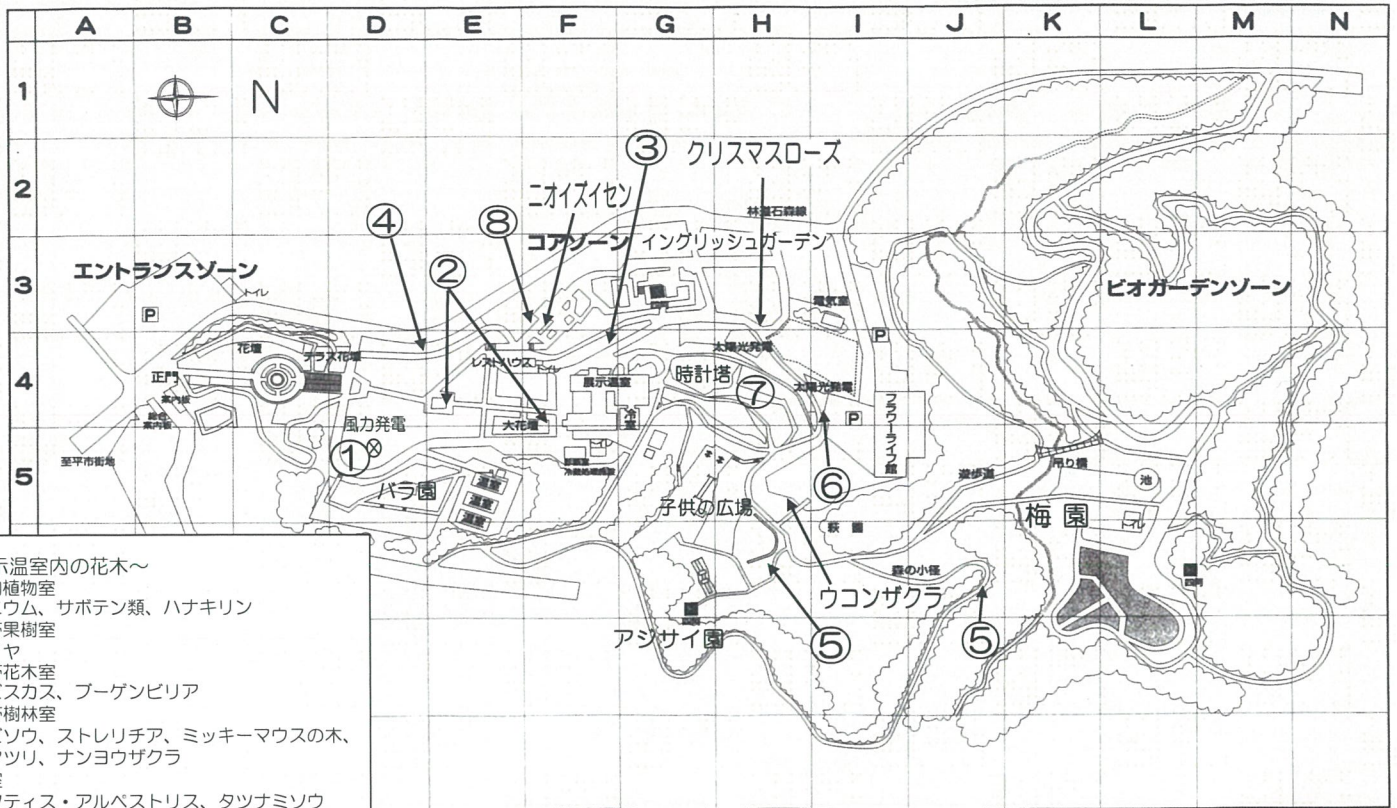


フラワーセンター【4月の花】

2021年度 4月19日更新

※園内の植物の盗難が相次いでいます 園内の植物は絶対にとらないでください。



～展示温室内の花木～
 ・多肉植物室
 ゼラニウム、サボテン類、ハナキリン
 ・熱帯果樹室
 パパイア
 ・熱帯花木室
 ハイビスカス、ブーゲンビリア
 ・熱帯樹林室
 コエビソウ、ストレリチア、ミッキーマウスの木、
 パンマツリ、ナンヨウザクラ
 ・冷室
 ミオソティス・アルバストリス、タツナミソウ

①ネモフィラ (風力発電下)



ハゼリソウ科 一年草 原産：北アメリカ
 ネモフィラは森の妖精のような、澄んだブルーの花が愛らしく、春の花壇やコンテナの寄せ植えなどに多く利用されています。細かく切れ込んだ葉が密に茂り、自然に分岐して咲きながら大きくこんもりと成長します。

②パンジー (大花壇)



スミレ科 一年草 原産：ヨーロッパ
 パンジーは数千とも言われるたくさんの品種があり、花の大きさ・色・咲き方をはじめとして途方もないバラエティーがあります。パンジーの名前はフランス語のパンセ(物思い)に由来し、花の咲いている姿が物思いにふけているように見えることから名付けられました。

③ハンカチの木 (展示温室の西側通路沿い)



ミズキ科 落葉高木 原産：中国
 4月下旬～5月上旬に、白いハンカチのような姿の花を咲かせます。ハンカチのように見える部分は苞と呼ばれる部分で、この苞がハンカチを2枚つるしたように見えることから「ハンカチの木」と言われています。

④ベニバナトキワマンサク (園内西側の道路沿い)



マンサク科 常緑小高木 原産：中国
 3月中旬頃から5月にかけて咲きます。冬でも葉が落ちず、生垣としても人気です。新芽は赤紫色を帯び、だんだんと緑になっていきます。うねりを帯びて伸びる花びらは、細いリボンのようです。

⑤西洋シャクナゲ (子供の広場北側のシャクナゲ園)



ツツジ科 常緑広葉樹 原産：日本、ヨーロッパ
 シャクナゲはボール状に咲く気品のある花が魅力です。日本の鉾山に自生するものを日本シャクナゲ、欧米で品種改良されて日本に来たものを西洋シャクナゲと呼んでいます。

⑥モッコウバラ (フラワーライフ館駐車場のフェンス沿い)



バラ科 常緑つる性低木 原産：中国
 モッコウバラは常緑でトゲがないため扱いやすく、そしてバラの欠点である病害虫や耐寒性・耐暑性ともに強いため、とても育てやすいバラです。花は一季咲きで白または黄色の八重咲で、小さな花が房状に十数輪ずつ咲きます。

⑦オオデマリ (時計塔の北側太陽光発電前)



スイカズラ科 落葉低木 原産：日本
 高さが2～3メートルになる低木で、5～6月に球状に密集した花を咲かせます。花は咲き始めが黄緑色で、開くと白色になります。花のかたまりは直径10cmを超し、まさしくオオデマリ(大手鞠)の名がぴったりです。花の咲き方や雰囲気はどこでもアジサイに似ています。

⑧ローズマリー (イングリッシュガーデン通路沿い)



シソ科 常緑性低木
 地中海沿岸に分布する常緑性の低木です。強い芳香があってハーブとして利用されるほか、低い位置で良く茂って姿がある程度まとまるので、庭木や境界垣、花壇の縁取りなどにも広く利用されます。